

「自転車と身障者スポーツ」技術講習会を終了して

東京晴海、国際見本市会場で10月24日(火)から3日間、国際自転車展と国際保健福祉機器展が同時開催される中、10月25日(水)隣接の貿易センターホールでサイクルスポーツの拡大と身障者が参加できるサイクルスポーツの普及を目的とした技術講習会を開催した。当日は自転車専門誌に案内が掲載されたこともあり、自転車関係者の他に一般参加者が多数見受けられた。

講習会では、始めに技研より「障害者におけるサイクルスポーツへのプロローグ」として開発中のアームサイクルや身障者自転車競技等について紹介があり、続いて欧州のロードレースで活躍されていたプロレーサー市川雅敏氏より「私がみて走ってきたヨーロッパ・プロ・ロードレース界よもやまばなし」と題して欧州でのレース競技について体験談を中心に講演が行われた。講演の中では競技に臨むための練習方法やコンディション調整法、食事など様々な面における日本と欧州の違いを話され

た。最後に今後日本が勝つために必要なことは、選手個々のレベルアップはもちろんのこと、選手の実力を十分に引き出すことのできる優れた指導者の育成が不可欠であるとして、自ら選手の指導にあたっていきたいと抱負を語り締めくくられた。



講演中のプロレーサー市川雅敏氏

